

シヨクカイ相場情報2024.03

国内野菜

全般

【根菜類】

○大根

生育は順調ですが、出荷が前進傾向です。3月中旬以降、千葉県産のトンネル作が盛期となりますが、神奈川県産の切り上がりが多い予想で、数量減少により単価が持ち上がる見込みです。

○人参

3月上旬は全体量が少なく、相場は強含みの予想です。中下旬は徳島県産主体の出回り引合いは落ち着く見込みですが、数量は多くなく、相場は堅調になる見込みです。

○玉ねぎ

北海道産冬物は堅調な価格推移で加工需要が低く、3月は弱含みの展開が予想されます。新物は春商品として引き合いが強まる見込みです。

【葉菜類】

○白菜

3月上旬は茨城県産の秋冬作と春作との端境により数量が減少し、相場は上昇する気配です。下旬には春作の盛期となり、相場は反落する見込みです。

○キャベツ

3月中旬以降、神奈川県産の本春キャベツが主軸となり、単価が持ち上がる見込みです。

○ほうれん草

2月は降雪の影響で一時的に相場上昇の場面もありましたが、安値基調でした。天候が温暖なことから各地の生育は順調で、3月も単価帯は同様となりそうです。4月頭には量販店の特売が入るため、3月末は相場を上げていく流れになる見込みです。

【果菜類】

○胡瓜

2月下旬は天候不良や気温低下で出荷が停滞したものの、生育は概ね順調だったため、気温が上がれば十分な出回りが見込まれます。

○茄子

2月下旬は天候不良により出荷が少なく、3月は厳冬期を過ぎて全体量は増えてくる時期です。順調にいけば入荷量は前年・平年並みとなる予想です。

畜肉

鶏肉

【輸入鶏肉】

ブラジルからの12月出船量(≒2・3月頃入荷)は5.5万トンと非常に多く、川下からの下げ圧力が強まっています。モモ正肉は、下げ傾向で、品薄感もなく販売しやすい環境です。モモ角切り肉は、昨年夏の鳥インフルエンザの影響は少しずつ解消され、以前ほどの逼迫感はありません。競合する国産鶏モモ正肉が軟調で、解凍の手間やスペースが必要なブラジル産からの移行も見られます。暖冬による飼料需要への影響を含め、ブラジル産の需要減少が懸念されております。

豚肉

【輸入フローズン】

紅海・スエズ運河の迂回によるスケジュール遅延の影響で、先の入船遅れや不透明感が増しており、現物在庫に蓋をする動きが増加しています。欧州産ベリー・カラーを中心に市中在庫は逼迫しています。各社1ヶ月程度の遅れを想定しているものの、スケジュールはかなり不安定であり、春先需要に向けて慎重に在庫ポジションを注視しています。年明けからの円安や航路変更による輸送費増加等もあり、実需と連動しない相場上昇となっています。

【輸入チルド】

国産の豚価が上昇したことで、荷動きが改善しています。上物からスソ物まで満遍なく動いています。

牛肉

【豪州産】

港湾ストライキやトランシップ遅れによる影響を引きずっており、一部で納入先へのデリバリーに苦勞している企業もあるようです。ただ、末端需要は強いわけではなく、専ら仲間で在庫を探索動きとなり、さらに円安も追い打ちをかけています。

【米国产】

日本の輸入者は2・3月の買い付けが少ないことから、春頃までは現在の状況が続き、需給の緩みはない見込みです。チャックアイロールや焼材も頭数減少による高騰の影響が大きく、入荷量は制限されており、現地先物も値上がりしており、末端が欲しい水準の玉はほぼ出難くなっています。

輸入野菜

ほうれん草

一部産地は降雪の影響を受けたものの、生育は概ね順調です。3月下旬頃から春作新物を収穫・加工する予定です。価格は今のところ落ち着いています。

菜の花

長期間続く寒波の影響により、生育に影響が出ています。栽培面積は例年並みです。早ければ2月末から少量ずつ収穫・加工が始まる見込みです。各工場とも原料在庫が底をついたため、来期の原料価格は吊り上げられると予想されています。

ブロッコリー

江蘇産地は今期のシーズンが終了しました。浙江産地は収穫・加工中です。寒波の影響を受けているものの、価格・作柄は概ね例年並みで推移しています。今後の価格動向に注視が必要です。

サトイモ

昨年度は価格が暴騰し、中国からの輸入量が1割以上減少しました。今シーズンの収穫量はある程度回復したものの、供給不足が緩和される兆しはなく、各工場は在庫を積み上げておらず、原料価格は依然として高い水準で推移しています。

キヌサヤ

スナップピース

長期間続く寒波の影響により、苗の生育に影響が出ている模様です。キヌサヤの栽培面積は年々減る傾向がありますが、スナップピースの栽培面積は例年並みでの推移です。どちらも原料価格は依然として高い水準で推移しています。

魚介

鮭・鱒

【鮭・鱒】

新物鮭原料は、今期は漁獲量の減少で終了しましたが、原料価格に関して昨年水準程度となりました。製品価格相場は、若干ですが値下がり傾向です。鱒原料は、今期新物の供給量増加に伴い、製品価格は昨年と比較して大幅な値下がりです。

【チリ銀鮭・トラウト】

チリ銀鮭原料は、供給量の増加を要因として現状値下がり傾向での推移です。製品価格につきましても、若干の値下がり推移となっています。サーモントラウト製品も同様に値下がりしている状況です。

サバ

ノルウェー産・アイスランド産等の欧州産今期新物原料は、昨年度と比較して買付価格が値上がりしています。今後、製品価格は値上がりすると予想されています。値上げ幅に関しては、若干の値上げ程度で留まる見込みです。国産・中国産サバに関しては、現在行われている新物漁獲量により製品価格に反映されますが、現状の新物原料価格は、昨年同等位の価格帯で推移しています。

さくら

新物中国産・韓国産さくら原料は、昨年度と比較し、漁獲量増加を要因として、原料価格は値下がり傾向で推移しています。現在、製品価格相場に関しても同様に値下がり傾向です。

赤魚

メバル

あじ

たら

赤魚・メバル原料は、為替変動(円高)を主要因として、原料価格が値上がり傾向での推移です。製品価格も同様に値上がり予想ですが、若干の値上げ程度で留まる見込みです。ニュージーランド産・チリ産のあじは、原料価格の値上がりや為替変動(円高)を要因として値上がり傾向での推移です。今後、製品価格に反映される見込みです。助宗たら原料は、価格は供給の増加により値下がり傾向での推移です。製品価格の値下がりが見込まれます。

※2024年2月末日現在の予測に基づいて作成しております。